

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

大阪府		
学校名	管理機関名	設置者の別
大阪府教育センター附属高等学校	大阪府教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
大阪府教育センター 附属高等学校	https://www2.osaka-c.ed.jp/partner/folder_1/post-26.html

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
大阪府教育センター 附属高等学校	https://www2.osaka-c.ed.jp/partner/folder_0/6.html	https://www2.osaka-c.ed.jp/partner/folder_0/6.html

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本校は、探究ナビの授業を中心に、「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等の育成」に計画的、系統的に取組み、社会人基礎力を育む。

従来の講義型から参加型で生徒自ら知識を活用し、学びをデザインする授業実践が関係者からも高い評価をいただいている。

課題は探究図書館やラーニングコモンズ等、学びの空間と特別の教育課程を結び付け、生徒の自己実現、生徒主体の教育活動につなげることである。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している本校では、「探究ナビ」や「グローバルスタディーズ」等の設置により、大学進学率が60%を超え、生徒の学ぶ意欲が高まっていると言える。大阪府教育センターの指導主事と本校の教員が一体となり、先進的・先導的な教育実践に取り組んでいることも理由の一つである。各教科と探究ナビ等を横断的に結び、学校全体で豊かな感性と確かな学力等、総合的な人間力を身につける。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような課題を踏まえ、本特例をさらに充実、発展させ、大阪府並びに全国に本校の取組みを発信していくことが本校の責務である。そのためには、社会の変化に対応しつつ、本校でこれまで培った知識やノウハウを継承し、創造的発想で外部関係機関と連携しながら生徒とともに作り上げていく。